

## 第 17 回 IEEE Japan Council History Committee 議事録 (案)

日時：2022 年 10 月 21 日 (金) 14:00～15:00

場所：ワークラボ Hakodate (北海道函館市)、オンライン (Zoom) 併催

出席者：

[現地] 白川功 (HC Chair、関西支部兼任)、島村和典 (HC Vice Chair)、  
長尾慈郎 (HC Secretary)、末松憲治 (chapter operations committee chair)、  
藤野雄一 (札幌支部)、曾根秀昭 (仙台支部)、鈴木浩 (東京支部)、JC 事務局：  
加藤麻紀子 (記)

オブザーバー：山田崇史 (東京支部 HC)、重松昌行 (JC Secretary)

[オンライン] 平川正人 (広島支部)、橋爪正樹 (四国支部)、

オブザーバー：堀田昌志 (広島支部次期委員)

以上 敬称略

### 議題

1. 2022 年体制
2. 第 16 回委員会議事録確認
3. 2022 年の運営方針と活動状況
4. 広島支部 HC 委員交代について
5. 各支部報告
6. 次回 JC HC 開催支部について
7. その他

### 資料

1. (HC17-01) 2021-2022 IEEE JC HC 委員名簿
2. (HC17-02) IEEE JC HC 第 16 回委員会議事録案
3. (HC17-03) JC 理事会資料 (HC 関連部分)
4. (HC17-04) 広島支部委員交代について
5. (HC17-05-1) 東京支部活動報告
6. (HC17-05-2) 名古屋支部活動報告

## 7. (HC17-06) JC HC 開催支部一覧

### 議事概要

長尾 Secretary より、議事と資料についての説明があり、白川 Chair から一言ご挨拶を頂いた。

#### 1) 2022 年度体制

2021-2022 年度体制（資料 HC17-01）の確認を行った。

#### 2) 第 16 回議事録確認

第 16 回議事録案（資料 HC17-02）については、内容に問題があれば後日 JCHC Secretary に連絡を頂くことで承認となった。

#### 3) 2022 年度の活動方針について

JC 理事会への報告資料（HC17-03）に基づき、今年度の活動方針について説明があった。また、同資料に基づき日本国内の Milestone の状況について確認した。

日本国内の Milestone の贈呈式実施状況については、前回会議からの追加は無く、1 件デンソーの QR コードが COVID の影響によりしばらく贈呈式準備中となっていたが、9 月 26 日にハイブリッド形式で無事実施された。

#### 4) 広島支部 HC 委員交代について

支部の中でも分野や地域により異なる状況もあり、委員を固定するよりは、いろいろな人材で引継ぎ、活動する方が良いと考え、来年度から広島支部の委員を堀田先生に交代したいとの提案があり、意義無く承認された。

#### 5) 各支部からの報告

リスト順に北から報告頂いた。

<札幌支部からの報告>

藤野委員より、札幌支部での Milestone 申請準備状況について、現在は特に報告すべき事項は無いが、北海道は産業の構造上、Milestone 認定頂けそうな案件を発掘するのも難しいと感じている。造船業はあるが、製造業、情報産業など Milestone 向きのものは無いように思う。引き続き多方面からのアドバイスを求めつつ、申請できそうな案件の発掘、調査準備など進めて行きたい旨報告があった。

<仙台支部からの報告>

曾根委員より、昨年から進捗が無い、既に申請済みの垂直磁気記録について、来年の仙台で開催の国際会議に合わせて贈呈式を実施したいとの希望もあり、何とか急ぎ対応頂けないか再度相談があった。これまでの経緯や、支部としての対応の経緯など当日資料を投影で説明があり、白川 Chair から再度本部 HC や Advocator に直接コンタクトを取って、より積極的に働きかけて進めてもらいたいとのアドバイスがあった。

[http://ieeemilestones.ethw.org/Milestone-Proposal:Perpendicular\\_Magnetic\\_Recording](http://ieeemilestones.ethw.org/Milestone-Proposal:Perpendicular_Magnetic_Recording)

<信越支部からの報告>

佐藤委員欠席のため、報告は無し。

<東京支部からの報告>

鈴木委員より、東京支部 HC の来年からの新体制についての説明があった。

Chair は三菱電機の河東様に交代、VC を鈴木委員が担当する。東京支部での Milestone 贈呈式予定は今のところ無し。申請中は 6 件、世界初の商用セルラーシステムと奥村カーブはアドボケートより、2 件に分けることを勧められそのように進めることとした。いずれも東京支部がスポンサーとなる。現在最終推薦文を作成中。贈呈式は、同時開催とすることで準備を進めている。

パルスオキシメータはアドボケート承認待ち。面発光レーザーは、申請書完成、サポートレター準備中。座席指定システム MARS は、鉄道総合技術研究所、日立製作所、鉄道情報システム、JR 各社で調整が終了、申請を了承、各社で調整が終了、申請を了承、プラーク設置場所は鉄道博物館となる。アドボケートアサ

イン待ち。TRON リアルタイム OS、プラークは東大本郷のダイワユビキタス学術研究館に置くことで了承されている。サポートレター準備中。

マイルストーン申請準備中の案件は3件。

ラジコンバス、申請を了承。技術資料、英文資料を調査中。新幹線制御システム（コムトラック）申請を検討中、JR 東海関連のため名古屋支部との分担協議中。動的単一モードレーザー、顕彰先承認済み。

>島村 VC より光ファイバコネクタについての NTT での申請準備状況についてコメントがあった。NTT には Milestone 担当の部署があり、積極的にサポート頂いている。光ファイバコネクタについては、以前認定済みのものと内容が同じではないかとのオブザーバ山田様からのご指摘もあり、引き続き詳細を確認頂き、準備を進める。

<名古屋支部からの報告>

長尾委員より、懸案となっていた QR コードの Milestone 贈呈式が無事9月26日に対面とオンラインのハイブリッド形式で実施されたことが報告された。

その他申請準備中の案件として、プリウス自動車、ブラザーのインパクトプリンタ、NAS 電池について報告があった。何度か働きかけたが NAS 電池は申請を遠慮したいと先方からの申し出があったため、様子を見ることとなった。

<関西支部からの報告>

白川委員 (Chari 兼務) より、関西支部関連で現在進行中の案件について説明があった。昨年度の報告以降新たに追加されたものは、

Development of Optical Image Stabilizer, (パナソニック) が申請中として追加された。また、申請自体は福岡支部内での扱いとなっているが、Proposer として申請書作成と支援をおこなっている、First Electronic Lavatory Basin "Washlet", 1980 も申請済みで、現在 Advocate 待ちとなっている。

[http://ieemilestones.ethw.org/Milestones\\_Status\\_Report](http://ieemilestones.ethw.org/Milestones_Status_Report)

<広島支部からの報告>

平川委員より、これまで広島支部からの申請は未提出のようだが、来年から交代予定の堀田委員とも情報引継ぎ、交換しつつ、引き続き、是非支部とも相談して候補の発掘を進めたいとの報告があった。地域に自動車産業などもあることから、制御系のものの他、天体望遠鏡に関する技術の推薦アドバイスを頂いたが、調べたところ、まだ25年が経過していない状況のため、もう少し様子を見ることとなった。

#### <四国支部からの報告>

橋爪委員より、以前候補として検討していた青色LEDと関連の白色LEDについて、どちらも難航しており、状況に変更は無く、申請準備は進んでいないことが報告された。

別の候補として、愛媛県の三浦工業というボイラー会社の管理システムが申請対象とならないか、検討中であったがこちらも保留となっていることが報告された。

#### <福岡支部からの報告>

福永委員欠席のため、報告は無し。

支部報告後に全体を通しての申請書の準備について、申請時の用語の利用方法や申請書作成方法の有効な手段について、白川Chairよりアドバイスがあった。

#### 6) 次回JC HC 委員会開催支部について

資料HC17-05に基づきこれまでの開催支部を確認し、これまでの順番通りとなる場合、次回は仙台支部にて開催することが白川Chairより提案され、受け入れ側の仙台支部曾根委員の了解も頂き、仙台支部開催が決定した。開催日と開催場所などは新年度開始後に調整する。

#### 7) その他

- ・白川先生から全体を通してのまとめのコメントを頂いた。

Milestone 申請後の本部の対応の遅延など、AdvocatorからのReportなどは素案を作成し情報提供することも有用な手段であることが報告された。JCHC と

しても随時支部での対応など、情報共有と支援を行うので、是非今後も積極的に申請を進めて頂きたい。

JC HC の重要な任務は Milestone の発掘、申請準備と考えているとのコメントがあった。

以上